

防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 11 号

平成 29 年 10 月 20 日

おぼ 覚えておこう さいがい でんごん 災害伝言ダイヤル「171」！

毎月 1 日、15 日は災害伝言ダイヤル体験提供日です。災害伝言ダイヤルとは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への電話がつながりにくい状況になった場合に提供されるメッセージ録音機能のことです。家族などに安否を伝えるために NTT が設置しています。



災害のときに、「電話がつかない!」「大切な人と連絡がとれない!」ということが予想されます。もしものときのために、一度体験しておくことが大切です。使い方は、緊急通知の『110』『119』と同じように 3 つの番号をダイヤルするだけです。音声ガイダンスに従って無事であることをメッセージで残すことができます。8 月 1 日、本校教員も災害伝言ダイヤルの体験をしました。教員同士でペアを作り、安否を確認する側、確認される側になりました。大災害時に、学校に残っている子どもの安否確認やお迎えの方法などを録音して、シミュレーションしました。教員だけでなく保護者の方も理解していれば、大災害時に活用できます。

毎月 1 日と 15 日に
体験日できます♪

まずは、171
にダイヤルね。



登録がいらないから
簡単でいい!

携帯電話も使えて
便利ですね!

伝言ダイヤルの使用方法

伝言録音

1

1

7

1

2

伝言再生

被災地の方の電話番号 (XXXX) XX-XXXX

1

#

録音 (30 秒以内でお話ください)

1

#

再生



災害時手帳「らいと」をお持ちでしょうか。体育大会のときに配付したものです。これにも、家族に無事を伝える方法として、災害伝言ダイヤルが紹介されています。「らいと」は、障害のある方が災害時に必要な行動ができるように大切な情報を記入して使う、携帯用の手帳です。この手帳では、「名前」「避難している場所」「避難している人の名前」をセリフにし、読んで伝えるようになっています。

大切な命を守るために・・・！ ー救命救急講習会 7/25ー

7月25日、教員対象に救命救急講習会を行いました。

大滝病院の院長先生から「救急車が到着するまでに何ができるか」という話を聞いたり、グループに分かれて心臓マッサージやAEDの実習をしたりしました。消防士や医療従事者の方からきめ細かく教えていただきました。

毎年、このような訓練を受けることで、いざというときに落ち着いて対処できるように心掛けています。



自分の身は自分で守ろう！ ー第2回 避難訓練 9/7ー

9月7日（木）地震を想定した第2回の避難訓練を実施しました。

今回は、昨年からの取り組みの一つとして「シェイクアウト」の徹底を図りました。緊急地震速報を聞いてから活動場所で身を守るための安全行動に取り組みました。



【シェイクアウト】「地震の揺れに備えろ！」という意味です。

- ①姿勢を低く
- ②頭を守る
- ③じっとする

※活動場所によってシェイクアウトの方法を臨機応変にとらないといけなことも児童生徒の皆さんには経験してもらいました。



地震での避難、待機する際に重要なことは・・・

- ①落ちてこない
 - ②倒れてこない
 - ③移動してこない
- 場所に身を寄せて揺れがおさまるのを待つ



この基本をご家庭でもご理解いただけるとよいかと思います。



ご協力をお願いします！

子どもたちが学校にいるときに、大災害が起きたら・・・学校は、被災状況を教育委員会へ報告、救急車の要請など、あらゆる方面に電話をかけなければなりません。基本的に保護者の方への連絡は、緊急メールにて行いますが、緊急メールに登録していない方やどうしても問い合わせがたい場合は、学校ではなく担任に電話をしてくださるようご協力をお願いいたします。

学校ホームページURLはこちら

http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。